

盛岡となん支援学校

1 研究の概要

研究テーマ

「確かな学び、豊かな学びをはぐくむ授業づくり」
－ 3つの柱に基づいた授業実践を通して－

(1) 主題設定の理由

学習指導要領の改訂に伴い示された3つの柱を重視した実践に取り組むことによって、確かな学力を育み、知・徳・体のバランスのとれた力を育成することができる。このことは、本校の教育がめざす4つの児童生徒像にせまると共に、質の高い学びを実現することにつながるであろうと考へ本テーマを設定した。

(2) 研究の目的

①学習指導要領の改訂のポイントを意識した「確かな学び、豊かな学びをはぐくむ授業づくり」を通して本校がめざす児童生徒像にせまる。

(3年次計画共通の目的)

②児童生徒が主体的に活用できる環境や場面を設定し、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりするために、主体的に学習に取り組む態度を育成する。

(3年次の重点)

③研究の成果は、校内ネットワークを通じて共有すると共に、外部団体の研究会において発表する。
(成果の発信)

(3) 研究内容および方法

①全体研究会

3年次研究の全体構想や今年次研究の構想について共通理解を図る。また教職員個々の研究実践の共有や全体研究の評価を行う。

②一人一授業の実践

一人一人が課題を明確にし、新学習指導要領を意識した授業に焦点をあてた取り組みとする。指導案を作成し、それを基に授業実施(グループメンバーの参観)、「確かな学び、豊かな学びをはぐくむ授業」振り返りシートを活用した振り返りを行い、その後の授業に活かす。

③グループ研究会

3つの教育課程とICT・訪問教育部に分かれて、研究グループを4～5名程度とし、お互いに授業を提案する。年間をとおして授業提案を基に協議

を深め、校内での授業力向上を目指す。

④学習内容の整理

本校児童生徒の実態によっては、各教科等の目標・内容を取り扱わなかったり、全学年の目標・内容に替えたりする場合は予想される。そこで、教科等の連続性の視点を大切にしながら指導を行うために、昨年度整理した学習指導要領を今年度は活用する。

2 寄宿舎における研究の概要

研究テーマ

「一人一人の自立と生活力の獲得をめざして」
～対話を大切にしながら生徒主体の個別の生活指導計画をとらして～

(1) 研究の目的

①生徒との振り返りを定期的に行う中で、主体的に目標に取り組む姿を育む。

②各アセスメントを通して生徒それぞれの課題と指導・支援方法を共有し、一人一人の自立に向け、生徒それぞれの発達段階に応じた生活力(スキル)の向上をめざす。

(2) 研究の内容及び方法(3つのキーワード)

①生徒との対話を大切に取り組み、生徒の「なりたい自分」や「寄宿舎生活で取り組みたいこと」について、個別の生活指導計画に反映する。

<対話の重視>

②生徒との定期的な振り返りを通して、生徒の達成度合いを認めながら生徒の主体性を引き出す指導及び支援を行う。

<生徒主体>

③各アセスメントの充実と系統性を意識した推進、職員間の情報共有の強化と保護者との連携により、効果的な指導及び支援につなげる。

<連携(アセスメントの系統性)>

3 講演会

新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

4 校内研修会

演 題：「重度重複障がいのある児童生徒の評価のあり方」

講 師：柴垣 登 教授

日 程：12月24日(木)